

講義ユニット名	放射線診断	所属科目名	器官・システム病態制御学Ⅱ
講義ユニット 責任者	なかむら ゆうこ	所属	放射線診断学
	中村 優子		
講義ユニット コーディネーター	なかむら ゆうこ	所属	放射線診断学
	中村 優子		
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。		
概要	画像診断では、心臓大血管・呼吸器などの領域別に、代表的疾患あるいは病態について、単純X線写真・CT・MRI・核医学検査等の読影法と鑑別診断の考え方を講義する。インターベンショナルラジオロジー（IVR、画像診断技術を用いた低侵襲治療）では、IVRの基本的手技およびその理論的背景を概説し、その適応および臨床応用について述べる。		
到達目標	<p>PS-03-04-05 腫瘍の画像検査（エックス線、CT、MRI、PET・核医学、超音波等）の異常所見がわかり診断できる。</p> <p>PS-03-04-24 主な腫瘍のインターベンショナルラジオロジーの適応について概要を理解している。</p> <p>CS-02-03-07 主要な臨床・画像検査の目的と適応を理解し、解釈できる。</p> <p>CS-02-04-16 インターベンショナルラジオロジーについて概要を理解している。</p> <p>表2-2. 神経系（検査方法）脳・脊髄の画像検査（CT・MRI）を説明でき、基本的疾患について読影が出来る。</p> <p>表2-5. 循環器系（検査方法）心臓シンチグラフィ、冠動脈CT、MRIを説明でき、基本的疾患について読影が出来る。</p> <p>表2-6. 呼吸器系（検査方法）画像検査（エックス線撮影・CT・MRI）、核医学検査（ポジトロン断層法（PET））を説明でき、基本的疾患について読影が出来る。</p> <p>表2-7. 消化器系（検査方法）画像検査（エックス線撮影・超音波検査・CT・MRI）を説明でき、基本的疾患について読影が出来る。</p> <p>表2-8. 腎・尿路系（検査方法）腎・尿路系の画像診断（エックス線撮影・尿路造影・CT・MRI）を説明でき、基本的疾患について読影が出来る。</p> <p>表2-9. 生殖器系（検査方法）精巣と前立腺の画像検査法（尿路造影・CT・MRI）、超音波検査 骨盤内臓器と腫瘍の画像診断（超音波断層法、CT、MRIを説明でき、基本的疾患について読影が出来る。</p> <p>表2-12. 乳房（検査方法）乳房腫瘍に対する画像診断（超音波検査・マンモグラフィ・MRI）を説明でき、基本的疾患について読影が出来る。</p>		
講義日程	別紙日程表を参照のこと		
出席の取り扱い	出席は広島大学医学部医学科のグランドルールに従う。出席状況把握システム、Forms出席アンケート内の小テスト解答提出の両方をもって出席とみなす。3分の2以上の出席がない場合は本試験、追試験、再試験のいずれにおいても受験資格を与えない。		
評価項目	画像に関する基本的な知識（CT値やMRI画像の信号特性の解釈法）、疾患・病態の知識、それらを応用した論理的な読影能力および疾患の鑑別能力について評価を行う。（基本的理解と知識の応用）		
評価法	MCQ形式にて試験を行う。試験開始後10分以上の遅刻は受験を認めない。本試験における合格基準は60点とする。		
予習・復習へのアドバイス	予習は特に必要ない。講義における各疾患の画像の診断ポイントについて講義資料で復習すること。IVRについては、各手技の適応について講義資料で確認すること。		
推奨参考書	特になし		